

令和7年第2回（2月）山陽小野田市教育委員会定例会会議録

1 日 時 令和7年2月27日（木曜日） 14時00分 開会

2 場 所 山陽小野田市役所 第2別館 会議室2

3 出席委員 教 育 長 長 友 義 彦 職務代理者 竹 田 佳 枝
委 員 中 村 眞 也 委 員 河 村 芳 高
委 員 末 永 育 恵

4 欠席委員 0人

5 委員及び傍聴人を除くほか、会議に出席した者の氏名

教育部長	藤 山 雅 之	教育次長兼教育総務課長	矢 野 徹
学校教育課長	山 本 敦 士	埴生幼稚園長	福 間 久美子
学校給食センター所長	吉 村 匡 史	社会教育課長	山 本 修 一
中央図書館長兼厚狭図書館長	山 本 安 彦	歴史民俗資料館長	若 山 さやか
小学校長会長	下 瀬 昌 巳	中学校長会長	安 田 尚 弘
書 記	野 原 嵩 恵		

6 傍 聴 人 0人

7 議事日程

(1) 開 会

(2) 会議録署名委員の指名

(3) 報 告

(4) 休 憩

(5) 議 事

① 議案第8号 山陽小野田市教育委員会表彰の被表彰者の決定について (教育総務課)

② 議案第9号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価(令和5年度事務事業分)
について (教育総務課)

(6) その他

① 県費負担教職員の人事について (学校教育課)

② 市職員の人事について (教育総務課)

③ その他

(7) 閉 会

開 会

○長友教育長

それでは定刻になりましたので、山陽小野田市教育委員会会議規則による2月の定例教育委員会会議を開催いたします。

本日は委員全員ご出席ですので、会議が成立していることをご報告いたします。

会議録署名委員の指名

○長友教育長

会議録署名委員の指名をいたします。中村委員、竹田委員よろしくお願いいたします。

会議非公開の決定

○長友教育長

本日の議案第8号は特定の個人に関する情報が含まれており、会議を公開することで個人の正当な権利利益が害される可能性があります。また、会議を公開すると、率直な意見の交換や意思決定の中立性が不当に損なわれる等、会議の公正・円滑な運営に支障が出る可能性があります。したがって、会議を非公開としたいと思います。

また、議事日程「6.その他」の「県費負担教職員の人事について」及び「市職員の人事について」は、特定の個人に対する審議であり、公開することにより、職員との信頼関係が損なわれると認められるとともに、人事の適正な執行に支障が生ずると認められます。

よって「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第7項ただし書きの規定により、非公開としたいと思います。

これに賛成される方の挙手をお願いします。

(全員挙手)

ありがとうございます。賛成多数と認めます。それではレジュメに沿って進めます。

各課・館業務の報告

○長友教育長

報告事項に入ります。

まず私から2点報告をいたします。

1点目は、2月2日（日）不二輸送機ホールにて「令和6年度山陽小野田市PTA連合会父親母親研修大会」に参加しましたので、その報告をいたします。

この研修会は市内のPTAの方々が集まり、他校の実践活動や子育てに関する講演を参考にして自校のPTA活動に役立てていこうとするものです。今年度は埴生小中一貫校が「できるときに、できる人が、できるほど」をスローガンに進めてきたPTA活動を「保護者の負担軽減」「新しいことにチャレンジ」「地域との連携」という視点から発表されました。

実践発表に続き、山口県歯科衛生士の今田千恵美様から「子どもの健口が脳と体に与える影響！？」を、更に、いきいきLABO整骨院の壺岐淳平様から「ゴールデンエイジについて学ぼう」をテーマとしたご講演を拝聴いたしました。

PTA活動につきましては、行動等さまざまな点で色々な意見が出されており、見直す時期であると考えております。無くしても良いのではないかという考え方もありますが、今回の研修会のように学ぶことができる研修もPTAがあるからこそ、だと思います。人生100年時代といわれ、大人も子どもも学び続ける時代です。また来年度の講演を楽しみにしたいと思います。

2点目は、山陽小野田市から広島・長崎へ「平和を願って感謝の折り鶴を届けようプロジェクト」についてです。本市のスマイルプランナーで本山小学校の北永健人君が本プロジェクトを企画し実施しているところです。このプロジェクトは、山陽小野田市の小学生・中学生が作った折り鶴をまとめ、北永君が代表して広島へ届けるというものです。昨年行われた竜王中学校での「平和のつどい」の講演に感動し、「なにかできることを」ということで企画されたようです。現在折り紙は各学校へ配布され、子どもたちが一生懸命心を込めて折り鶴を折っているところです。一人ひとりの平和の願いが届くよう祈りたいと思います。

私からは以上です。報告について、ご意見ご質問等ございましたらよろしくお願いします。

それでは各課からの報告をお願いします。藤山教育部長お願いいたします。

○藤山教育部長

私の方からは、令和7年第1回（3月）市議会定例会についてご報告いたします。

会期は2月20日から3月24日までの33日間で、一括上程された令和6年度の議案等10件と令和7年度の議案33件に係る委員会審議等や一般質問が行われます。

まず議案についてですが、令和7年度一般会計予算についてだけ概略ですが報告いたします。

歳入面においては、国の税収が、令和5年度決算において、4年連続で過去最高を更新する等好調に推移しており、令和7年度予算では更なる増収を見込んでいる一方、本市の税収は、前年度から増加はしているものの、国ほどの大きな伸びとはなっていません。

また歳出面では、社会保障関連経費や公共施設の維持管理経費が高い水準で推移していることに加え、物価高騰による事業費の増嵩（ぞうすう）等の影響も大きく、例年にも増して厳しい予算編成となりましたが、市の総合計画における中期基本計画の最終年度となり、中期基本計画に掲げる「地域を創る」・「ひとを創る」・「まちの価値を創る」の「3つの創る」と、「デジタル化の推進」・「山口東京理科大学との連携」・「スマイルエイジングの推進」の「3つの横断的施策」の取組を継続し、市と市民とが一丸となって「協創によるまちづくり」を進めることができるような予算編成に努めたものとなっております。

一般会計予算の当初予算総額は、歳入歳出それぞれ345億3千万円で、前年度当初予算に比べて5.7パーセント、18億7千300万円の増額となりました。教育費では、GIGAスクール推進事業費の増や学校施設長寿命化改修事業費の皆増等があるものの、中央図書館照明器具LED化改修

事業費の皆減や学校給食に係る賄材料費の減等により2.4パーセント減の21億925万8千円を計上しております。教育費の一般会計当初予算に占める割合は6.1パーセントとなっています。

予算を審査します一般会計予算決算常任委員会総務文教分科会では、予算額5千百7万3千500円の学校施設長寿命化改修事業について、特に重点的に審査を教育委員会が受けることになっております。なお、この事業は、「山陽小野田市学校施設整備計画」に基づき中長期的な維持管理に係るコストの縮減及び平準化を図るとともに学校施設に求められる機能・性能を確保するために校舎等の改修を行うもので、令和7年度は赤崎小学校管理特別教室棟外壁改修工事及び厚狭小学校耐力度調査を行います。

最後に、一般質問につきましては来月の教育委員会議定例会で報告いたします。

私の方からは以上でございます。

○長友教育長

ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。よろしいですか。

それでは、矢野教育次長兼教育総務課長をお願いします。

○矢野教育次長兼教育総務課長

私からは工事の進捗状況についてお伝えをいたします。

今年度、小学校で3校・中学校で2校体育館の照明をLED化することとしています。高千帆小学校・有帆小学校及び高千帆中学校については、すでに工事が完了したことを本委員会で報告をしておりますが、残る高泊小学校及び竜王中学校につきましても工事が無事終了しましたことを報告いたします。これによって3月、卒業式は明るい状況の中で迎えることができていると感じております。

もう1件が、教育委員会が共催又は後援する行事等一覧表をお配りしておりますので、こちらをご覧ください。こちらは1月29日から2月25日の間に教育委員会で承認したものとなっております。今回につきましては、社会教育課が該当するもの3件でございます。

報告につきましては以上となります。

○長友教育長

ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。

確認ですが、体育館のLED化はこれで全てですか。

○矢野教育次長兼教育総務課長

残りがございまして、来年度で終わる予定でございます。ただ、厚陽小学校・出合小学校は蛍光灯が今現在付いておりますので、そちらについての実施年度はまだ定まっていない状態です。

○長友教育長

その他ございませんか。

○河村委員

元に戻っていいですか。藤山部長のところになります。

来年度の予算が検討されていると思うのですが、教育関係は「減」になったのですか。

○藤山教育部長

はい。減になっております。

○河村委員

ハード面は分かるのですが、今言われたように体育館のLED化を進める等あるのですが、ソフト面で来年度何か目玉となるような施策は無いのですか。

○藤山教育部長

そうですね、ソフト面については継続的なものとなり、特に新しくやるものについては現在のところございません。

○河村委員

わかりました。先程言われた市の中長期計画の最終年度と言われ、また再来年度の話ですが何か目玉となるようなものを考えていただきたいと思いますので。

○藤山教育部長

こちらにつきましては、私共も考えさせていただこうと思いますが、もし何かご意見等ございましたら教育委員さんの方からも、ご助言いただけたらと考えております。

○河村委員

はい。わかりました。

○長友教育長

その他よろしいですか。

続きまして山本学校教育課長お願いいたします。

○山本学校教育課長

学校教育課からご報告します。特色ある教育活動を2点紹介します。

1点目は、授業における生成A Iの活用です。生成A Iを授業で活用する研究は全国で取り組まれています。本市では、東京学芸大学の鈴木准教授の指導を受けながら研究を進めています。

2月5日に竜王中学校において保健体育の卓球の授業が公開されました。生徒はミニゲームを通してどのように攻撃すれば得点が取れるのか、そのためにどんな練習をすればよいのかを、生成A Iと対話しながら考えを深めていきました。本授業を受けた生徒に話を聞いたところ、「自分の考えを入力すると具体的な回答が得られる。」「なんとなく考えていることが具体的に分かってくるのでとても良いと思います。」と感想を述べています。このように、今後は生成A Iをパートナーとして対話を通して知識を深め、技術を高めていく学びが期待をされるところです。

2点目は、キャリア教育についてです。

2月は各校において小学校の「10才の集い」や、中学校の「立志式」が行われています。これらはキャリア教育の一環として実施され、自身のこれまでの成長を振り返り、今後の自分の生き方を考える機会となっています。児童生徒は式の中でこれまでの学びを通して将来の生き方について考えたことをしっかりと表現していました。

また高千帆中学校では、三菱UFJアセットマネジメントの方を講師としてお迎えし、金融教育を行いました。お金の知識や判断力を育成するため、基本的な知識について講義を受けた後「ナビナビ資産運用デザインゲーム」というアプリケーションを用いて、3人から5人のグループで相談しながら貯金や株・結婚・住宅購入といった約40年の人生をシュミレーションしました。生徒は楽しみながらも資産運用について、学びを深めていました。このような学びを通して、児童生徒が自分の人生をしっかりと見つめて生きていく一助となるよう取組の活性化を図ってまいります。

以上で学校教育課の報告を終わります。

○長友教育長

ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。

では私から。生成A Iの活用について、来年度はどのような予定となっていますか。

○山本学校教育課長

来年度は県教育委員会の方から、全ての中学校に生成A Iが導入されることとなっています。導入

にあたっては、県内数校がモデル校として研究を進めていまして「自学ができる」そのような使い方が提案されているところです。本市としては、この度の研究は授業の中において振り返りを深めていくという観点で生成ＡＩを活用しておりますので、使い方の一つの提案的な研究だったと思っています。全ての学校で何らかの形で生成ＡＩを導入していく形となっています。

以上です。

○長友教育長

その他よろしいですか。

それでは福岡埴生幼稚園長お願いします。

○福岡埴生幼稚園長

埴生幼稚園です。よろしくお願いします。

園の様子を４件ご報告させていただきます。

初めに２月３日に行った「節分のつどい」についてです。担当職員から節分の由来についての話があり、鬼の絵が描いてある輪投げやボーリング等のゲームを楽しみ、園庭で豆まきをしました。このつどいには教育委員会から２名の職員の協力をいただきまして、「ピクミン」のキャラクターに扮して子どもたちと触れ合っていました。子どもたちはとても喜び、迎えに来たお母さんに「今日ね、ピクミンが来た。」と真っ先に報告していました。

次に作品展についてです。１０日から１４日まで、子どもたちが１年間取り組んできた個々の作品や共同制作・立体作品の展示を遊戯室で行いました。保護者の方は子どもたちの表現に感動されており、子どもたちは作品について一生懸命お家の人に話をしていた、とても楽しい空間になっていました。

次は手づくり味噌についてです。１月に手づくりした味噌を使って、豚汁づくりをしました。年長児が包丁で野菜を切り、鍋に入れて味噌を溶くという工程を行いました。給食時に頂いたのですが、豚汁が一番に汁椀からなくなりました。手づくりの優しい味がしました。

最後に１２月から行っている持久走についてです。毎年２月の終わりに持久走大会を行っています。今年度は持久走の目的を職員みんなで見直し、友達と競うのではなく「最後まで自分のペースで走る」をねらいとして、大会という言葉をやめ「みんなでＲＵＮラン」と命名し、２５日に保護者も参加型で持久走を行いました。保護者の参加が多く、「順位や距離に関係なく自分のペースで楽しむことができた。」との声をいただきました。

卒園式まで１か月をきっています。お別れ遠足やお別れパーティ等楽しい行事もありますが、最後まで怪我のないよう子どもたちを見守っていこうと思います。

以上です。

○長友教育長

ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。

それでは続きまして、吉村学校給食センター所長お願いします。

○吉村学校給食センター所長

学校給食センターから報告いたします。

今月、新年度の給食提供に向けて栄養教諭が各学校に訪問し、新１年生になる児童とアレルギー対応の変更をされる方を対象に、アレルギーの面談を行っております。これで新学期の給食提供にアレルギー対応ができると考えております。

それと２月１０日給食センターの見学会がありまして、就業に向けた職場研修として、厚狭高等学

校総合家庭科１年生３１名が参加して学校給食センターの見学をされました。

２月２２日（土）に「学校給食のメニュー作って食べよう」親子食育料理教室４回目を実施しまして、６組１４名の小・中学校児童生徒と保護者の参加がございました。実際に給食で提供しております、キムタクごはん・鶏肉のねぎ三昧ソースかけ・ゆかり和え・もずくスープ・手作り小野茶ムース等、親子で作ることができました。実際に提供している給食を食べられた保護者の方は「給食は美味しいんだね。」「野菜がいっぱい入っていますね。」「バランスがいい給食を提供されているんですね。」というアンケート結果がございました。子どもさんからは、小野茶ムースを実際に手づくりで作ってみて、「自分で作った小野茶ムース、また帰って作ってみよう。」というようなアンケート結果がございました。

給食センターからは以上です。

○長友教育長

ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。

それでは、山本社会教育課長お願いします。

○山本社会教育課長

社会教育課から３つご報告いたします。

１つ目は、赤崎地域交流センターで行われた「赤崎ふれあい文化祭」、また小野田地域交流センターで行われた「小野田交流センターまつり」についてです。

２月１６日、両センターで開催されましたので見学してまいりました。各交流センターで開催されておりますこれらの行事につきましては、地域づくりの目的のほか、各交流センターで活動されている生涯学習クラブの発表の場となっており、両会場ではそれに係る作品展示やステージ発表が行われておりました。その他、地元幼稚園・保育園の園児、また小中学校児童生徒の作品展示が行われていた他、赤崎交流センターでは理科大フィルハーモニーのステージ発表、また小野田交流センターにおいては、小野田工業高等学校によるブース展示がございました。どちらのセンターも、地元中学生がバザー等の催しの他ステージ運営に関わっておられ、生涯学習の発表の場の他に、学校と地域の方々のつながりの場になっていると感じました。

３月には、高千帆・須恵・本山の交流センターで同様の催しが行われる予定となっております。

２つ目は、文化財についてです。２月１８日、有帆の岩崎寺（がんきじ）におきまして寺所蔵の７躯体の仏像が一般公開されました。その内「木造千手観音菩薩立像」・「木造釈迦如来坐像」・「木造阿弥陀如来坐像」の３躯体につきましては、この日のみの年１回の開帳であり、秘仏を一目見ようと多くの方が訪れておられました。

また、この日は有帆小学校３年生の児童が地元の文化財について学ぶため見学に訪れておられました。仏像がある観音堂には地元の歴史に詳しい方が待機しておられ、児童もその方から仏像の云われ等について説明を受け、興味深そうに聞いておられました。

有帆地域交流センターが発行する、ふるさと通信「ありほ」では、地域の文化財や伝統行事を紹介する記事が掲載されております。また、この度小学校児童が地元の文化財の学習に来られたことから気づいたことは、毎年恒例の地域行事をきっかけに市民が文化財に親しみ、そこに学びが加わることでにより文化財を大切に継承する機運醸成が図ることができるのではないかと、感じました。

最後に来年度の花壇コンクールについてです。春のコンクール参加に向けて、２月３日から申し込み受付を開始いたしました。申込期限は３月７日までとし、４月中旬を目途に審査を行う予定としております。

報告は以上でございます。

○長友教育長

ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。よろしいですか。

それでは、山本中央図書館長兼厚狭図書館長お願いいたします。

○山本中央図書館長兼厚狭図書館長

市立図書館からご報告申し上げます。

1つは、現在中央図書館での特別整理期間で蔵書点検を行っています。厚狭図書館については、すでに終わっております。

そして中央図書館では、照明設備LED化工事を閉館期間に併せて行っています。

《1.2月行事報告》をご覧ください。2月13日（木）「図書館協議会」を開催いたしました。この内容についてはまたご報告させていただきます。2月16日（日）第7回目となる「図書館でオープンマイク！」を開催いたしました。こちらには、北海道札幌市から詩人の方が参加されました。

【資料展示】では2月15日から「厚狭高等学校生によるオススメの本」の展示を開催しているところです。

《3月行事予定》をご覧ください。3月15日（土）「建築家・田戸義彦氏と語る図書館のこれから」を開催いたします。田戸さんは、中央図書館の実施設計をご担当された方でございます。今年が中央図書館開館30周年を迎えることから、記念行事の第1弾として開催することにしております。3月22日（土）映写会「コーダ～あいのうた～」を上映いたします。これは、アンコールによる上映会となっております。3月23日（日）「第100回記念 詩～ポエム～カフェスペシャルイベント」を開催いたします。ポエムカフェは毎月開催してきましたが、3月で100回目を迎えることになりました。そこで、大分から詩人の方をお迎えして記念講演を開催いたします。

厚狭図書館では《2月行事報告》ですが、2月16日（日）「あさぼんまつり プレイベント」を開催いたします。

そして【資料展示】につきましては、「厚狭中・厚狭小・出合小児童生徒による合同おすすめ本の展示」を現在開催中でございます。併せて「厚狭高校生徒によるおすすめ本の展示」も開催しております。

《2月・3月行事予定》ですが、3月1日（土）「第1回（通算8回）あさぼんまつり」を開催いたします。第1回と明記しているのは、実行委員会形式として初めて開催するものです。メインのイベントとしては、「おこんじょうり」という朗読劇を開催することになっています。

図書館からは以上でございます。

○長友教育長

ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。

では私の方からいいでしょうか。

「あさぼんまつり」の実行委員会形式で今年まず1回目ということで、実行委員会に集まってくださった方々は、年齢層等どのような方が集まったのですか。

○山本中央図書館長兼厚狭図書館長

厚狭図書館で、色々なグループで活動されている方がいらっしゃいます。古文書解説講座や俳句教室、そのような方々が集まっていただいて実行委員になっていただき、色々なアイデアを出していただきながら開催にこぎつけてきたところです。

○長友教育長

ありがとうございます。その他よろしいでしょうか。

それでは、若山歴史民俗資料館長お願いします。

○若山歴史民俗資料館長

歴史民俗資料館からご報告します。

資料をお配りしておりますので、そちらをご覧ください。

2月6日（木）厚狭小学校、2月7日（金）本山小学校、2月13日（木）厚陽小学校の3年生に「昔の暮らしと道具」の出前授業に行ってきました。道具の写真やイラストのスライドを見て、様々な道具や昔の人の生活の知恵を学んだ後、実際に道具を触ってみました。安全こたつが転がっても火皿が水平を保ち、炭火がこぼれない仕組みを何度も確認していました。現在は電気の家電製品で便利ではありますが、昔は色々な工夫がされていたことを感じていたようです。

20日（木）には、本山地域交流センターへ出前講座に行っております。

企画展「宴」では22日（土）にギャラリートークを開催しました。皆さん熱心に聞いてくださり、とても雰囲気良くて、ついしゃべり過ぎまして時間オーバーしましたが、「しっかり解説がありよかった。」と言っていました。

最後に、3月6日（木）に歴史講演会「徳山毛利家八代広鎮の子どもたち～毛利勅子を中心に」を開催いたします。周南の美術館から松本講師をお招きして開催する予定としております。現在120人以上のお申込みがあります。皆さんに楽しんでいただけたらと思っています。

資料館からは以上です。

○長友教育長

それではただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。

それでは私の方からですが、小学校への出前授業はこれで全部の小学校に行かれたということですか。

○若山歴史民俗資料館長

そうですね。今年度は全部になります。来てもらうか、行くかになります。

○長友教育長

主に3年生ですかね。

○若山歴史民俗資料館長

そうですね。須恵小学校の日程が合わなくて、社会科見学を回られる日程と合わなくて来られなかったです。

○長友教育長

また何らかの形で、須恵小学校にはフォローしてもらえたらと思います。

○若山歴史民俗資料館長

はい。

○長友教育長

その他よろしいですか。

それでは続きまして、小学校長会長お願いいたします。

○下瀬小学校長会長

小学校長会から3点報告いたします。

1点目は、最後の参観日についてです。3学期も残すところ18日、6年生は14日となりました。

2月は最後の参観日を行う小学校がほとんどで、2月の3週目から4週目に行っております。またそ

の後、学級懇談会等が開かれ、1年間の児童の成長や家庭の協力等も話し合っています。特に4年生は先程も他所からありましたが、「10才の集い」を内容に工夫を行っております。将来の夢や目標・大切にしている言葉・特技等を発表する形や、合唱や合奏・家族への感謝の言葉等を話す学校もあります。この4年生の3学期を一つの節目と捉え自分の成長を見つめ直し、高学年としての自覚を持たせるようキャリア教育の視点としても非常に有意義なことだと思っております。

2点目は、折り鶴プロジェクトについてです。先程教育長からもありましたが、1月の校長会でシティセールス課から依頼のありました「平和を願って感謝の折り鶴を届けようプロジェクト」が各学校で行われております。本校では、この取組をボランティア委員会が中心となって進めており、折り鶴への参加者を募ったところ、昨日昼休みに120名が体育館に集まり、折り鶴を折りました。友達同士で教え合う様子や、上級生が下級生に教えるかたちで30分間に300以上の折り鶴を折ることができました。

3点目は、幼保・小の情報交換会についてです。2月末から3月の初めにかけて、来年度小学校に入学する園児についての情報交換会を行う、幼保・小連絡会議情報交換会が行われます。入学児童一人ひとりについて、幼稚園や保育園等の過ごし方や配慮事項について情報を交換します。実際に聞いてみると、この1か月の間に対応する方法を考えなければいけないこともありますし、貴重な時間となっております。本校では、昨日13園との情報交換をしました。この情報を基になめらかな接続ができるよう、支援計画を立てて行きたいところです。

以上、小学校長会からの報告でした。

○長友教育長

ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。よろしいですか。

では中学校長会長よろしく申し上げます。

○安田中学校長会長

中学校の状況について3点報告いたします。

1点目は、今月の1日・2日（土・日）に不二輸送機ホールで山陽小野田市美術展覧会が開催されました。幼保・小中の園児、児童生徒の優秀作品と県美術展覧会で推奨・優良・入選に輝いた作品の一部が展示され、保護者や地域の方々等、多くの方々の観覧をいただいています。

2点目は、1月末から2月初旬にかけてキャリア教育の視点として、2年生が「立志式」または「立志のつどい」を開催しています。生徒一人ひとりが登壇し、将来への想いを誓いの言葉として述べました。本校では最後に2年生全員で「いのちの歌」を合唱し、保護者に感謝の気持ちを伝えました。

3点目は、どの学校も今月末に1・2年生の学期末テストを実施しています。その後、3月初旬には「3年生を送る会」を実施し、1・2年生が3年生に感謝の気持ちを伝えます。3年生は、3月5日（水）の公立高校の一般入試に向けて最後の追い込みをかけているところです。高校入試が終わると、3月7日（金）が卒業式となります。卒業式に向けてそれぞれの学年で卒業式に向けた心構えを伝え、3月に入ると式練習が始まる予定となっております。

中学校からは以上です。

○長友教育長

ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。

○河村委員

はい。よろしいですか。

○長友教育長

はい。

○河村委員

話は元に戻るのですが、今キャリア教育という話があったので、先程キャリア教育の中で資産運用の話が出ましたが、実験的な教育なのか、やってみてその後長期的に展開を広げるという経過があるのか、そしてこの教育に対してメリット・デメリットもあると思うのですが、デメリットの面については言われているのですか。その３点について聞かせてもらえますか。

○山本学校教育課長

今の金融教育ですが、中学３年生が公民の分野で学ぶ内容があります。それと家庭科の中で金融について学ぶことがありますので、それを併せたようなかたちで外部講師を招いて実際の知識をシュミレーションしたものとなっています。子どもたちは何となくお金については知っているけども、実際資産運用とは知識としては深くないので、今回は非常に深まる良い機会となりました。デメリットというところは、資産運用のデメリットとしてなのか、金融教育自体のデメリットかというところではあるのですが、資産運用についてのデメリットについては、ハイリスク・ハイリターンやローリスク・ハイリターンがあるのは、金融業界からするとありえない話だということもしっかりと抑えていただいて、資産運用の在り方について学ぶ機会になったと思います。回答になったかどうか不明なところはありますが。

○河村委員

ではこれから広げていく計画はないのですよね。とりあえずやってみよう。

○山本学校教育課長

そうですね。三菱ＵＦＪとしても、中学生に資産運用を学んでもらう機会として自分たちで協定を作ったので、少し展開してみたいというところで来ていただきました。子どもたちの反応は非常に良くて、終わっても資産運用について話をするような意識の深まりは出たと思っています。

○河村委員

子どもたちは非常に興味があると思うのですが、やはり損をする危険性もあるので。今頃はスマートフォン１つでギャンブルにも手を出せますし、駄目だということはスマートフォンの中では言いませんので、勝手にギャンブルに手を出すこともあり得るので、その辺りの危険性というのは強調していただきたいと私は個人的に思っています。それをわかって広げていってもらえるとより良いのではないかと思います。これは私の意見です。

○山本学校教育課長

今の話は十分に抑えられた上で話してもらっていますので、大丈夫だと思います。

○河村委員

はい。わかりました。

○長友教育長

私も見学をしましたが、三菱ＵＦＪの方が言われていたのは将来にわたって「騙されない」こと。先程も言いました、リスクが少なく大きな見返りがあるものは無いのだ、ということをしごく強調されていて、甘い言葉に引っかかることのないようにということも言われていましたので、そうした面でも今回はゲームのシミュレーションですが、高校でもまた金融教育をされるということなので、それが基になって更に高校での知識をつけて１８歳になったら成人になりますので、成人に向かって行ってもらえればと思っておりました。

○河村委員

私も個人的にはどんと行ってもらいたいです。社会の仕組みを皆に知ってもらわなければならないと思いますが、リスクがあることだけは抑えてもらいたいです。

○長友教育長

末永委員よろしいですか。保護者の方からお願いします。

○末永委員

では私から。息子が授業を受けましたので。息子や友達もその日の内に「すごく楽しい授業だった。」と言って、「今までで一番楽しい授業だったんじゃないか。」という声も聞いたぐらいで、とにかく「興味を益々持った。」「すごくわかりやすかった。」「楽しく学べた。」「色々な教科でこのような授業があったらいいな。」と言っておりましたので、是非このような授業をたくさん進めたいと思いました。本当に好評だったと思います。色々なところから、「すごく良かった。」と聞きましたので。私も受けたいなと思います。保護者も一緒に受けたいなと思ったぐらいなので、是非、続けていきたいと思いました。

以上です。

○山本学校教育課長

はい。ありがとうございます。

貴重なご意見として、来年また参考にして考えたいと思います。

○長友教育長

はい。その他よろしいですか。

次回の会議日程

○長友教育長

それでは（３）その他に移ります。

次回会議日程について、教育次長よろしく願いいたします。

○矢野教育次長兼教育総務課長

それでは次回の定例会につきまして、令和７年３月２７日（木）１４時００分から市役所第２別館会議室２こちらの会場となりますが、こちらの案でお諮りしたいと思います。よろしく願いいたします。

○長友教育長

はい。皆様よろしいでしょうか。

（「はい」という声あり。）

はい、それでは提案どおりでお願いしたいと思います。

それでは前半を終了いたします。お疲れ様でした。

１４時４２分休憩

１４時４４分再開

議案第 8 号 山陽小野田市教育委員会表彰の被表彰者の決定について

山陽小野田市教育委員会会議規則第 9 条ただし書きの規定により、非公開

議案第 9 号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（令和 5 年度事務事業分）について

○長友教育長

続きまして、議案第 9 号「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（令和 5 年度事務事業分）について」事務局説明をお願いします。

○矢野教育次長兼教育総務課長

議案第 9 号「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について」ご説明いたします。

別にお渡ししています点検・評価報告書をご覧ください。1 ページ目につきましては、この事業の法的根拠、趣旨を記載しております。教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 1 項の規定により、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について学識経験者の知見の活用を図り、自ら点検・評価を行い、その報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされています。これを受けまして、令和 5 年度に実施した事務事業の点検・評価報告書を作成しましたのでお諮りいたします。

2 ページ目の（3）点検及び評価の対象に関する変更点を記載しております。昨年までは、事務事業のうちの臨時的な事業の中から、学識経験者に選定していただいた 10 程度の事務事業を評価対象としておりましたが、令和 6 年度以降は、臨時的な事業、経常的な事業をあわせ、山陽小野田市教育振興基本計画にある 4 つの基本目標の達成に寄与する事業を教育委員会で選定し、対象事業といたしました。

評価していただいた学識経験者は（5）にありますとおり、宇部フロンティア大学短期大学部の伊藤教授、山陽小野田市立山口東京理科大学の福田准教授、元教育委員で会社経営者の永山さんの 3 名にお願いをしております。

4 ページ目からは選定した事業を記載しており、6 ページ目からは事業の概要や成果・実績・事業ごとの学識経験者の方のご意見、基本目標ごとのご意見を記載しております。最初の 20 ページには総合的な評価、そして結びとしています。

いくつかのご意見を紹介いたしますと、7 ページにあります「小学校社会科副読本デジタル化事業」につきましては、こちらは昨年度も対象事業としておりまして、昨年は「市の広報ツールとして一般向けに公開し活用してほしい」とのご意見があり、令和 6 年度においては授業で活用するとともに市ホームページで公開し、閲覧していただいております。さらにデジタル以外のメディア作成や、ユニバーサルデザインバージョンの作成を求められており、検討を進めてまいりたいと考えております。ある程度のユニバーサルデザインにつきましては、市のホームページに搭載している機能でカバーすることは可能なのですが、音声の読み上げ等難しい状況となっておりますので、こちらについては市の広報とも連携しながら検討してまいりたいと考えております。

また、9 ページにあります「理科教育設備整備事業」につきましても同様に昨年度も対象事業とな

っておりまして、「一定の標準を示した合理的な整備の実施を求める。」「この整備は継続的に行っていく必要があります計画的に整備してほしい。」とのご意見があり、国の補助金を活用しての整備は1年おきとしていますが、毎年、経常的な経費として教育振興備品費を確保しており、継続的に整備しているところです。今年度は、学習指導要領に照らした一定のスタンダードを整備し、これに応じた整備をとのご意見をいただきました。これにつきましては、国の交付要綱に示す設備の設置基準を各小中学校と共有し、整備備品選定の参考としています。

その他、今年度新たに対象事業となったもの、それぞれの基本目標ごとにも学識経験者の方々から貴重な意見をいただきましたので、これからの教育振興基本計画の改正や事業実施あるいは事業計画の策定の際には、ご教示いただいたご意見を参考にさせていただきたいと考えております。

報告は以上でございます。

○長友教育長

ただ今の報告に関しまして、また冊子を見られましてご意見ご質問がございましたらお願いいたします。

○竹田委員

はい。

○長友教育長

はい。竹田委員

○竹田委員

12番の「理科教育設備整備事業」についてですが、各学校で児童数の変化があって減少している学校もあると思うのですが、その場合は余っていれば他の学校へ回す等、そのようなことはされているのですか。

○矢野教育次長兼教育総務課長

机や椅子は同じように不足しているところに回したりもしますので、逐次ではありませんが折を見て実施しています。

○竹田委員

はい。

○長友教育長

私から1つ。今の理科に関しまして顕微鏡なのですが、わりと古い物がずっと残っていて、管理によってはカビが生えて見えなくなっているものもたくさん出ているのかなと想像するのですが、現状はどんな感じなのですか。

○矢野教育次長兼教育総務課長

実際、顕微鏡自体がとても高価な物となっていて、最近の物はモニター付きであったり電子顕微鏡であったりと高価な物となっていますので、なかなか理科備品で補助金をいただきながら整備するにしても一度に多くの物は整備できない状況です。顕微鏡についても恐らく必要な台数は整備されていない状況だと思われますので、引続き補助金の活用や市の予算を獲得して学校の教育環境整備に努めてまいりたいと思っています。

○長友教育長

学校教育課が理数教育の充実と掲げていますので、備品の方も併せて点検していただきたいと思います。

○矢野教育次長兼教育総務課長

学校教育課とも連携してまいりたいと思います。

○長友教育長

その他よろしいですか。

河村委員。

○河村委員

8 ページの番号 7 番・8 番・9 番、「スクールカウンセラー等緊急派遣事業」「いじめ対策委員会」「不登校児童生徒数の割合」こちら非常に関心があります。7 番・8 番は現状維持で良いということで、9 番は達成率マイナス約 50 パーセントですが、評価 A となっているのは、拡充・拡大さえすれば良いということの評価なのですが、いじめだけではなくて、不登校の子がたくさんいますので、非常に難しい問題だと思うのですが、7 番・8 番・9 番の現状はどのようになっているのですか。実際、7 番・8 番は良くて 9 番だけに注目すれば良いというような見方を優先されているのですか。

○山本学校教育課長

「スクールカウンセラー等緊急派遣事業」については、学校にスクールカウンセラーを配置して、規定日数面談できる状況をつくっています。ただそれにも増して、家庭の事情や、本人の状況で、緊急に個別にも専属で対応するものの費用となっております。これは県の費用を充てていますので昨年度の実績で言いますと、その中で十分賄えたと思っています。今年度も学校も非常に落ち着いていまして、緊急事案も多く発生していないため県の配当予算内で十分収められている状況です。

そして「いじめ防止対策推進事業」についてですが、これは各学校に関係者を招聘した学校のいじめ対策について協議をする場を設けています。その回数ということで適切に実施ができているという評価となっています。

そして課題となっているのは、現状の「いじめ・不登校に対する支援事業」で不登校の生徒の割合が増えてきているところだと思います。現在学校においても個別の対応をしていますし、ステップアップルームというかたちを高千帆中学校でつくって、少しでも学校の中に留めるような場所をつくる場所もあります。それから本市で言うと、ふれあい相談室というのを小野田と山陽側に 1 か所ずつ設けて支援をしています。ただそこに来ている子たちは、不登校数からすると学校に行っていないので、不登校の数にカウントされてしまうのですが、現在の不登校で手厚い支援を受けていない子は、ほとんどいません。何らかの手立てが打たれている状況にはなっています。

○河村委員

本市の中で、重大な案件を抱えているというのはいらないですね。いじめに関して。

○山本学校教育課長

そうですね。いじめの認知件数は増えているのですが、ずっと対応して見取りをして重大事案に認定される事案は 0 件となっています。

○河村委員

事件にならないように未然に絶対防ぐのは大人の責任ですので、ここだけは事件を起こさないようにしていただきたいと思います。

不登校の件も一生懸命やっておられると思うのですが、どんどん増えるのではないかと私は見えています。こちらも力を入れていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

○山本学校教育課長

そうですね。今年度は昨年度程度という状態で、増加率は抑えられていると思っています。

○河村委員

はい。分かりました。

○長友教育長

不登校ですが、今日まさに質問がたくさんあったのですが、不登校で心配なのは、どの学年が増えているかというところで分析したところ、小学生が増えております。小学校3年生・4年生辺りが増えているのが、今までにはない特徴です。今までは中学校に入る時、中学校1年生の時に増えているような話があったと思うのですが、むしろ小学校3年生・4年生、それから中学校2年生から3年生になる時が増えていることが少し心配なので、そこも分析しながら手を打っていきたいと考えております。

その他よろしいですか。

○竹田委員

はい。

○長友教育長

竹田委員。

○竹田委員

14番の空調設備の件ですが、保健室等のエアコンは良いのですが、現状維持ということは特別教室へのエアコン設置は当面考えられていないのですか。

○矢野教育次長兼教育総務課長

教育総務課といたしましても、特別教室へのエアコン設置は重要だと考えております。事業計画等々も出しておりますが、なかなか市の中での優先順位で設置ができていないので国の財源や有利な財源を見つける中でなんとか事業化していきたいと考えております。

○藤山教育部長

補足ですが、特別教室の空調設備は教育長もすごく考えられておられますので、今回新年度予算で「なんとかならないか。」と、すごく動かれました。その結果、先程も申し上げましたとおり財政的に厳しいということで今回予算化とならなかったのですが、関係部署の方からは、なんとか付けないといけないという認識はありますので、少しでも経費を抑えるかたちを研究してもらえないかと宿題をいただいておりますので、今からやっていきたいと考えております。

○竹田委員

特に理科の実験の時にないのは、本当に考えられないなと思っているので、是非今後ともよろしくをお願いします。

○長友教育長

はい。その他よろしいですか。

○中村委員

はい。

○長友教育長

中村委員。

○中村委員

昨年度と違って目標達成度は「A」が多いのですが、これはコロナの関係も1つあるのですか。昨年は「B・C・D」と達成度が悪い項目があったのですが。

○矢野教育次長兼教育総務課長

この「A・B・C」につきましては、基本的な目標数値を立ててそれに対する達成度がどれくらい

かを機械的に判断しているものになりますので、その目標数値は年々見直しをしていますので頑張った事業もあれば、目標を少し落として事業を進めたものもございます。

○中村委員

はい。分かりました。

○長友教育長

よろしいですか。では私から1つ。27番の「ふるさと文化遺産」登録・活用事業が評価「C」となっているのですが、この説明をお願いします。

○矢野教育次長兼教育総務課長

こちらにつきましては5年度に増刷等したのですが、その販売冊数が目標値に届かなかったのが1つでございます。紹介等はしっかりとやっていますので、冊子が売れたことだけによって広まった、広まってないというのは拙速だと思うのですが、目標に挙げている以上は販売に向けて努力は必要だと思っています。

○長友教育長

新しいものを作るのですか。

○矢野教育次長兼教育総務課長

はい。今社会教育課の方で、今年度末までに文化財審議会の諮問を受けて策定をする予定です。ここで言って良いのか分かりませんが、埴生からずっと海岸線を通る本山までの部分をストーリーとした「ふるさと文化財」を登録しようと鋭意努力しているところです。

○長友教育長

はい。ありがとうございます。

○竹田委員

はい。

○長友教育長

竹田委員。

○竹田委員

20番の「学校給食費管理事業」なのですが、目標達成度が「B」ということで、どのような部分で「B」なのか説明していただけますか。

○矢野教育次長兼教育総務課長

収納率の関係だと思います。A判定というのが目標に対して75パーセント以上となりますので、収納率が100を目標にしているのですが難しいところで、更に目標値を下回ったのでB判定となっております。

○竹田委員

納入していない人は多いのですか。

○矢野教育次長兼教育総務課長

そうですね。2パーセント弱はございますので、その回収に向けては執行側として努力しないといけないところでございます。

○竹田委員

はい。ありがとうございました。

○長友教育長

就学援助の方の現物になったのはいつからですか。

○矢野教育次長兼教育総務課長

5年度からです。

○長友教育長

これは就学援助の方の未納は無いということですか。

○藤山教育部長

補足ですが、給食費を収めない方は生活が苦しいので収められないということで、その方々が就学援助の申請を受けて給食費相当分の支給を受けています。以前は保護者がもらって自主的に支払われていたのですが、やはりそれはそうあるべきではなくて、給食費として支給しているので給食費支給分を直接給食費の収納の方に当てがい、支援をしているので給食就学援助を受けたから給食費はお支払いしなくても現物で支援するかたちを取りましたので、その分収納率は上がっています。それ以外のものについて、今後支払いをお願いする努力をしていかないといけないと教育委員会としては認識しています。

○長友教育長

よろしいですか。

○竹田委員

はい。

○長友教育長

それではよろしいでしょうか。

（「はい。」という声あり。）

それでは採決いたします。議案第9号「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（令和5年度事務事業分）」について」原案どおり決することにご異議はございませんか。賛成いただける方の挙手をお願いします。

（全員挙手）

はい。ありがとうございます。議案第9号は全員賛成により可決されました。

その他

○長友教育長

それでは続いてその他に移ります。（１）・（２）につきましては非公開ですので、後ほど審議させていただきます。（３）その他について事務局の方何かございますか。

（「ありません。」という声あり。）

市職員の人事について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第7項ただし書きの規定により、非公開

県費負担教職員の人事について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 14 条第 7 項ただし書きの規定により、非公開

閉 会

15 時 15 分閉会

山陽小野田市教育委員会会議規則第 19 条の規定により、ここに署名する。

令和 7 年 2 月 27 日

教 育 長

印

署 名 委 員

印

署 名 委 員

印

会議録を調製した職員

印